

■ 会社概要 (2024年12月31日現在)

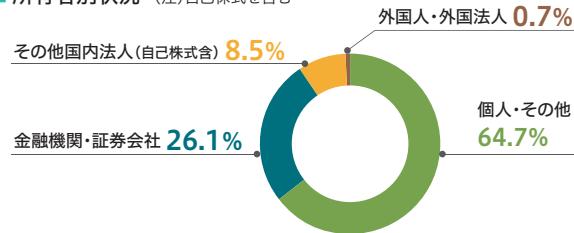
商号	株式会社FCホールディングス Founder's Consultants Holdings Inc.	連結子会社	株式会社福山コンサルタント(福岡県) 株式会社環境防災(徳島県) 株式会社地球システム科学(東京都) 株式会社エコプラン研究所(福岡県) 福山ビジネスネットワーク株式会社(福岡県) 株式会社SVI研究所(東京都)
代表者	代表取締役社長 福島 宏治		
本店所在地	福岡市博多区博多駅東三丁目6番18号		
資本金	4億円		
従業員数	419名(連結)		

■ 株式の状況 (2024年12月31日現在)

■ 株主の状況

発行可能株式の総数 12,000,000株
発行済株式の総数 6,727,122株 / 自己株式132,361株を除く
発行済株式の株主数 3,195名 / 前期比57名減

■ 所有者別状況 (注)自己株式を含む



■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
FCホールディングスグループ社員持株会	526	7.82
株式会社もみじ銀行	292	4.35
株式会社西日本シティ銀行	243	3.62
日本証券金融株式会社	237	3.53
株式会社福岡銀行	236	3.52
株式会社十八親和銀行	214	3.18
奥村 学	205	3.06
丸田 稔	168	2.51
株式会社SBI証券	164	2.44
土橋 史和	160	2.39

■ 株式事務のご案内

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 毎年9月
配当基準日 期末(6月30日)、中間(12月31日)
公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページアドレス
https://www.fchd.jp/ir/shareholder_information.html

株主名義管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(連絡先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

表紙：恒見朽網線

調査・計画・設計等、様々な業務を通じて提案を行った北九州市の幹線道路が2024年5月に開通しました。



株主さま・投資家さま向け
ウェブサイトのご案内



株主通信

第9期 中間報告

2024年7月1日～2024年12月31日

社会インフラ防災事業

■ 豊島大橋 橋梁点検 / 広島県呉市

安全な交通の確保と効率的な維持管理のために、道路構造物の点検に取り組んでいます。島々と本州を結ぶ「安芸灘諸島連絡架橋」のうち、本州より3番目の橋にあたる「豊島大橋」の点検を実施しました。

豊島大橋
2008年架設 単径間吊橋
橋長903.2m・最大支間長540.0m



豊島大橋

橋梁点検の様子

モビリティ形成事業

■ 自動運転EVバス運行実証実験 / 佐賀県嬉野市

佐賀県嬉野市において、自動運転EVバスを今後の観光まちづくりにおける「地域共創シンボル」として地域実装すべく実証実験を行っています。今期は地域実装時のサービス形態やビジネスモデルを見据えた実証実験を実施し、利用者ニーズや夜間運行の必要性、安全対策、収益性、経済波及効果等について検証を行いました。

「嬉野市未来技術地域実装事業」を(株)福山コンサルタント、日本工営(株)、(株)ケーシー・エスの3社で組成した共同企業体で受託



自動運転EVバス

環境、都市・地域創生事業

■ 小都市給水施設整備 / エチオピア国

エチオピアの小都市では、人口増加に伴い給水需要が高まる一方、給水施設の建設が追いついておらず、安全な水供給に課題を抱えています。オロミア州の6小都市を対象とした管路給水施設建設の、調査、計画、施工管理を実施しています。



井戸揚水試験

新分野

■ ツールを用いた防災計画策定支援

国土交通省が進めているPLATEAUを活用して災害情報の収集や、避難ルート検討を簡易に行うことができる地区防災計画作成支援ツールを開発しました。

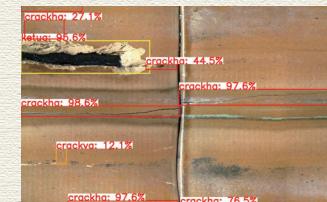
頻発・激甚化する災害に対して、地域住民、自主防災組織、地方公共団体等の多様な主体が最新の情報をリアルタイムに確認・更新できる環境を提供することで、地域の自助・共助力の向上に貢献していきます。



地区防災計画作成支援ツール

■ 水道インフラソリューション分野

年初に発生した下水道管破損に伴う道路陥没事故によって、下水道管の老朽化、点検が注目されています。当グループ研究機関SVI研究所において進めてきた下水道分野での複数の研究・商品群の、市場展開を強化しています。また、ウォーターPPP※導入可能性調査を3件受注しました。



下水道管損傷検出イメージ

※ウォーターPPP

下水道等、水関連の公共施設の管理や更新を、官民連携 (Public Private Partnership : PPP) で長期的かつ効率的に行うことを目指す取り組み

■ 下水道資源を活用した地ビール醸造・販売からまちづくり

下水道資源を活用した市民参画型ホップ栽培、収穫した生ホップと緩速ろ過の水道水で醸造した地ビールを地域ブランドとして展開しています。

この「自然再興型第6.5次産業」を推進する取組みが評価され、『国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会奨励賞』を受賞しました。

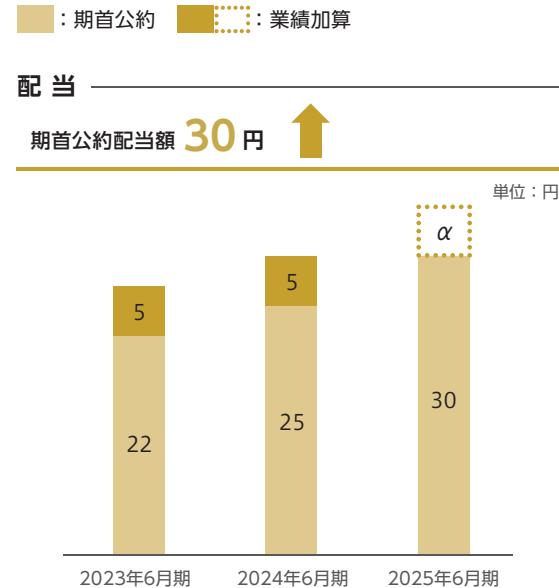
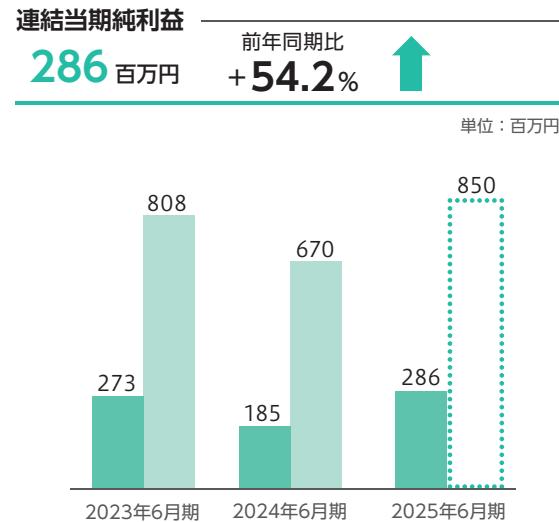
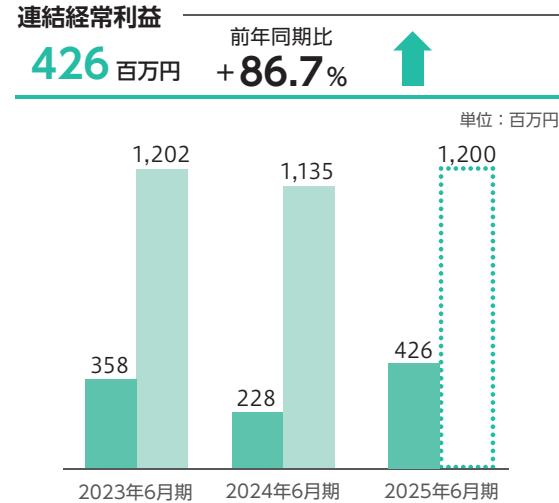
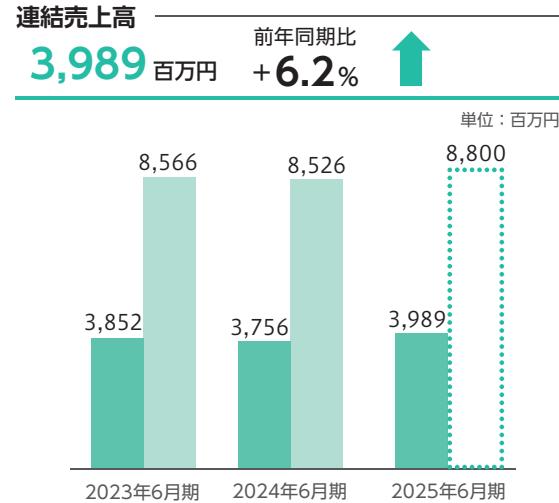


下水道資源を活用した地ビール「KITAKYUSHUダブリュー」



ウォーターPPPのイメージ

■：中間 ■：通期 ■：通期計画



※2019年6月期から2023年6月期まで「5期連続」株式分割(1:1.1)実施

連結貸借対照表(要約)

単位：千円

科目	前連結会計年度 2024年6月30日	当中間連結会計期間 2024年12月31日
資産の部		
流動資産	4,274,853	6,148,879
固定資産	5,009,541	5,073,875
有形固定資産	4,152,155	4,224,740
無形固定資産	42,424	37,243
投資その他の資産	814,960	811,892
資産合計	9,284,394	11,222,755

科目	前連結会計年度 2024年6月30日	当中間連結会計期間 2024年12月31日
負債の部		
流動負債	1,465,510	3,355,739
固定負債	289,495	214,887
負債合計	1,755,005	3,570,627
純資産の部		
株主資本	7,388,284	7,533,378
資本金	400,000	400,000
資本剰余金	1,046,116	1,101,935
利益剰余金	6,181,322	6,269,383
自己株式	△239,154	△237,940
その他の包括利益累計額	141,103	118,749
純資産合計	7,529,388	7,652,127
負債純資産合計	9,284,394	11,222,755

連結損益計算書(要約)

単位：千円

科目	前中間連結会計期間 自2023年7月1日 至2023年12月31日	当中間連結会計期間 自2024年7月1日 至2024年12月31日
売上高	3,756,937	3,989,559
売上原価	2,687,701	2,780,790
売上総利益	1,069,235	1,208,769
販売費及び一般管理費	842,085	784,731
営業利益	227,150	424,038
営業外収益	5,441	6,862
営業外費用	4,261	4,691
経常利益	228,330	426,209
特別利益	92,471	-
税金等調整前中間純利益	320,801	426,209
法人税等合計	134,996	139,612
中間純利益	185,804	286,596
親会社株主に帰属する 中間純利益	185,804	286,596

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位：千円

科目	前中間連結会計期間 自2023年7月1日 至2023年12月31日	当中間連結会計期間 自2024年7月1日 至2024年12月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△1,911,494	△1,912,954
投資活動による キャッシュ・フロー	△64,494	△161,056
財務活動による キャッシュ・フロー	1,803,261	1,707,583
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△11	△42
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△172,738	△366,469
現金及び現金同等物の 期首残高	1,630,459	1,723,536
現金及び現金同等物の 中間期末残高	1,457,720	1,357,067